

よいことの
ために
手をとりあおう

Governor's

Monthly Letter

2025

9

September vol.3

Rotary International District 2670
2025-2026 Governor Office : Kochi-City.Kochi-Pref.



RI 第 2670 地区運営方針「地域密着のロータリーを目指そう」
RI 第 2670 地区 2025-2026 年度 ガバナー 織田英正

Rotary



高知の風景



C O N T E N T S

ガバナーあいさつ	織田英正	3
地区委員長あいさつ	会員増強・維持・退会防止委員会 クラブ管理運営委員会	4
	職業奉仕委員会 / 社会奉仕委員会	5
	国際奉仕委員会 / 青少年奉仕委員会	6
	ロータリー財団委員会	7
	米山記念奨学委員会 ロータリーカード推進委員会	8
	ロータリー公共イメージ向上DEI委員会	9
ガバナー公式訪問報告		10
地区活動報告		16
7月度 出席報告		18
受賞者一覧・物故会員		19



国際ロータリー第2670地区 2025-2026年度 ガバナー

織田 英正

Governor's Message

今年のRI2670 地区インターアクト年次大会は8月2日（土曜日）・11:00～18:00 池田総合体育館サブアリーナで開催されました。大会テーマ『自然から学ぶ～大地の声を聴き、未来を守る力を育む～』に沿って活発な議論が交わされ、翌日は大歩危峡観光遊覧船を楽しまれたことと思います。

夏休みを中心に行われるアメリカ、ニュージャージー州 RI7475 地区との短期交換事業は順調に進んでいるようです。8月中には帰国し、8月末には短期交換派遣報告会が高知市で開催されます。若者達の成長した姿を楽しみにして待ちたいと思います。7月中旬に徳島市で開催されたロータリー第1回会長幹事会及び提唱クラブ連絡会議とともにロータリーの青少年奉仕活動が活発に行われていることは大変有意義であり、また開催に際して、ご協力頂いたロータリー会員の皆様には深く感謝を申し上げます。

12月まで続くクラブ訪問は、8月前半で香川県内18クラブ及びロータリーアクトクラブが終了し、次は徳島県21クラブを訪問することになります。関係する会員の皆様には準備などよろしくお願い致します。



インターアクト年次大会

地区委員長あいさつ

会員増強・維持・退会防止委員会



委員長
橋本 和弘
(道後 RC)

今年度(2025 - 26)、第2670地区の会員増強・維持・退会防止委員会委員長を務めさせていただきます、愛媛第Ⅱ分区ガバナー補佐の橋本和弘です。

所属は愛媛第Ⅱ分区の中では一番若い(と言っても創立30年以上ですが)道後ロータリークラブです。チャーターメンバーではないのですが、30年以上のロータリー歴になります。

昨年の秋にガバナー補佐の大役をお引き受けし、任期の始まる7か月以上前から様々な委員会に出席し、戸惑いながら少しずつ慣れ始めたところです。

ここ最近のロータリー会員数の減少は中々歯止めがからず、国際ロータリーも憂慮しているところです。

我が道後ロータリークラブは1991年12月に設立され、チャーターメンバーは27名でした。クラブの設立当初から「親睦の道後RC」ということで会員同士の親睦を大切にクラブ運営を行ってきました。会員数は最大で35名でした。今期の会員数は28名ですので、会員増強は現在の最重要課題です。

入会の可能性が高い方を例会に招待する「オープンロータリー」を年1~2回開催し新規会員の獲得を目指しています。また、ゴルフ同好会も年5~6回コンペを開催し、道後公園の清掃を毎年5月に行うなど、会員同士の交流を行っています。

会員維持・退会防止については、会員卓話や外部卓話、職場訪問例会を通じて会員が楽しんで有意義な内容になるようにプログラム委員会と協力することが必要です。

また、例会への出席が少ない会員には推薦人を通じて出席を促したり、興味のある話題を掘り起こしたりすることが重要です。

今後1年間で、各クラブの会員数の純増2名を目標に、頑張ってくださいと思います。

会員の皆様のご協力を、何卒よろしくお願い申し上げます。

クラブ管理運営委員会



委員長
森 雄司
(松山南 RC)

本年度、クラブ管理運営委員長を拝命しております松山南ロータリークラブの森雄司です。クラブ管理運営委員会は、8名のガバナー補佐を委員とし、地区研修リーダーの東邦彦バスターガバナーをカウンセラーとする委員会です。

この委員会の目的は、地区内各クラブが効果的な運営活動ができるようサポートすることであると考えます。クラブが効果的に運営されることにより、地域社会に奉仕し、会員を維持し、クラブや地区、ひいては国際ロータリーのリーダーとなる会員を育成することができるのではないかと考えます。もちろん織田ガバナーの方針である「地域密着のロータリーを目指そう」にも繋がるものと思います。

また地区組織図にありますように、当委員会は「クラブ管理運営委員会(クラブ奉仕委員会)」となっております。クラブ奉仕委員会として捉えると、円滑なクラブ運営が行われるための情報を提供し、効果的なクラブづくりの支援をすることも、目的として挙げられると考えます。例えば例会プログラムや会報(週報)などの事例、出席率向上の成功事例などを情報共有、紹介することにより例会の活性化に繋げたり、あるいは奉仕、親睦活動の事例紹介等も考えられます。

以上を踏まえると、当委員会は各分区のガバナー補佐の皆さまのお力に頼るところが大きいと思われれます。各クラブを訪問される中で好事例等を他のクラブにも紹介し、地区内のクラブ全体が活性化していければと思います。何卒皆さまのご協力をよろしくお願い申し上げます。

地区委員長あいさつ

職業奉仕委員会



委員長
三谷 芳広
(徳島 RC)

このたびも引き続き、職業奉仕委員長を拝命いたしました徳島 RC の三谷芳広です。昨年度は、各クラブの皆様と共に職業奉仕活動を振り返り、成功事例や課題を共有する中で、多くの学びと気づきを得ることができました。改めて、地域に根差した活動がクラブの強さと信頼を築いていることを実感いたしました。

本年度は、その学びを土台として、より一層実践的でわかりやすい職業奉仕活動の指針を示すことに注力してまいります。とくに活動の方向性に悩まれているクラブに対しては、具体的な事例紹介や新たな活動提案を通じて支援し、活動の活性化につなげたいと考えております。

また、従来の職業訪問活動に加え、地域社会のニーズを踏まえた新しい取り組みの可能性を模索し、時代に即した多様な職業奉仕を推進してまいります。その際には、クラブ間の連携とリソースの共有を大切に、互いに学び合いながら活動の幅を広げていくことを目指します。

最後に、ロータリーの根幹にある理念「I Serve (私は奉仕する)」を胸に、会員一人ひとりが職業倫理を高め、地域社会に貢献する姿勢を強めることを願っております。皆様の温かいご支援とご協力を賜りながら、共に実りある一年を築いてまいりたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

社会奉仕委員会



委員長
祖父江 貴
(徳島東 RC)

本年度、社会奉仕委員会の委員長をさせていただきます。よろしくお願いたします。

ロータリーの基本理念の中に、「ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として、奉仕の理念を奨励し、これを育むことにある。」と書かれております。そして、クラブ活動の土台となる5つの奉仕部門があり、その中の1つである社会奉仕を、「社会奉仕は、すべてのロータリアンが、地域の人びとの暮らしを豊かにし、より良い社会づくりに貢献することです。」と定義しています。

地区内各クラブの社会奉仕委員長様が、上記の理念を踏まえて新規または継続している事業活動を行えるようにサポートをしてまいりたいと思っております。

各クラブの皆様は、様々な奉仕活動への取り組みをされており、どの取り組みも数年あるいは数十年にわたり継続活動をされています。

情報の提供や、問題点の解決策に思慮しているクラブへのアドバイス等、出来ることは限られておりますが、活動の手助けをさせていただきます。

また、活動状況を随時地区内に発信することも必要かと思っております。

委員長様には、活動の途中経過・報告、いろいろな情報のご提供をいただけますようお願いいたします。

1年間よろしくお願いいたします。

地区委員長あいさつ

国際奉仕委員会



委員長
篠田 日出海
(高松南 RC)

まず、当年度期首の青少年短期交換プログラムで、受入高校生へのお持てなし等でご協力戴いた各クラブおよび会員の皆様には、衷心よりお礼申し上げます。

国際奉仕委員会は、青少年長期交換プログラムや青少年短期交換プログラム、および国際奉仕ファンド活用プログラムを管掌する3つの小委員会から成っております。

皆さんご存知の通り、青少年交換プログラム（長期／短期）では、若者達の“国際理解・親善・平和”を推進しております。

長期交換プログラムは1年間の交換プログラムですが、前年度は米国と豪州（オーストラリア）へ各1名の高校生を派遣、受入は米国と豪州からの各1名の高校生でした。今年度は8月から米国と豪州へ順次各1名の派遣および受入のプログラムを開始しておりますが、米国との交換は派遣および受け入れ共にビザの発給が遅れており、米国との学生交換は若干遅延している状況です。

短期交換プログラムは、今年6月26日から米ニュージャージー州 RI7475 地区より高校生20名を3週間受入れ、また7月31日から当地区の高校生20名を RI7475 地区へ3週間派遣しました。

会員の皆さんには、上記の長期・短期プログラムで交換青少年にホームステイを提供するホストファミリー（HF）として、このプログラムを支えていただき厚くお礼申し上げます。

また、国際奉仕ファンド活用プログラムは、基金も残り少なくなりましたが、地区内クラブが実施する発展途上国の貧困脱却や識字率向上、健康向上等の人道的支援プログラムの推進に協力したいと考えております。

国際奉仕プログラムにより、会員および家族と共に国際理解・親善に寄与し、平和な世界、幸せな世界が広がることを希望しております。

これからも国際奉仕活動へのご協力・ご支援をよろしくお願い申し上げます。

青少年奉仕委員会



委員長
荻田 智子
(高松北 RC)

猛暑・酷暑と表現された7月の暑さの中、青少年奉仕委員会の事業が始まりました。

7月13日には、ローターアクト委員会の第1回会長・幹事会及びローターアクト提唱クラブ連絡会議を徳島県立総合福祉センターで実施し、年度初めの力強いスタートを切りました。

8月2日、3日には、インターアクト委員会の年次大会が阿波池田総合体育館と大歩危峽を会場に、参加インターアクトクラブ13校を中心として活発に繰り広げられました。

「大地の声を聴き、未来を守る力を育む」を掲げた大会テーマを体感した2日間であったことと思います。スポンサークラブである阿波池田ロータリークラブの皆様には多大なるご尽力をいただきました。心よりお礼を申し上げます。

また、1979年の第1回から余島にて実施されておりましたライラセミナーが、余島野外センターの閉館に伴い、第44回をもって開催場所を変更することとなりました。3泊4日のセミナーを最高のプログラムに作り上げていただいた余島への「お別れの会」を8月24日25日に現地余島にて実施いたしました。

青少年奉仕委員会はそれぞれの委員長を中心に総意を結集し取り組んでおります。

今後ともご支援・ご協力・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

地区委員長あいさつ

ロータリー財団委員会



委員長
米田 均
(さぬき RC)

本年度ロータリー財団委員会委員長を拝命しましたさぬきロータリークラブの米田です。

ロータリーアンの皆様方には日頃から財団に対し格別のご理解とご支援を賜り厚く御礼申し上げます。ロータリー財団の使命は、ロータリー会員が、人々の健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成することです。非営利組織である当財団は、ロータリー会員をはじめ、よりよい世界を築こうというビジョンを共有する財団支援者の方々からの自発的な寄付飲みによって支えられています。ご寄付はロータリー財団の補助金となり、助けを必要とする地域社会に持続可能な変化をもたらすために役立てられています。

◆ 2025-2026 年度 日本の目標

年次基金	<ul style="list-style-type: none"> 一人当たり150ドル 年次基金寄付ゼロクラブゼロの達成 Every Rotarian Every Year (年次基金への寄付) の推進 ポール・ハウス・ソサエティの推進 (各地区10名増やす)
ポリオプラス基金	<ul style="list-style-type: none"> 一人当たり30ドル (1,500ドル以上の寄付をしたクラブには、感謝状が贈られます。)
恒久基金	<ul style="list-style-type: none"> 冠名基金を各地区1件以上設立
大口寄付	<ul style="list-style-type: none"> 寄付の種類にかかわらず、1万ドル以上のご寄付を日本で100件
DDFの活用	<ul style="list-style-type: none"> DDFの有効活用 (2025-26年度のDDFを使い切る前に、2020-21年度の繰越DDFを、2025-26年度分として寄贈可能 (2026年6月30日まで有効)) DDFの20%をポリオプラスへ寄贈
奉仕活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> 世界ポリオデーの推進 補助金活動の促進 ロータリー平和フェローシップの推進

未来の夢計画が始まって10年以上が過ぎました。皆さんがご寄付頂いた3年後47.5%地区に戻り比較的使いやすい地区補助金・長期的に大きな成果が期待できる大規模で国際的な活動を支えるグローバル補助金として使用できます。両補助金共に事業費・奨学生にも活用されています。

来年は補助金申請に必須となる補助金管理セミナーは新居浜市で12月6日(土)の1回です。“0クラブ0を目指そう”最後にロータリー財団への寄付を毎年ロータリーアンにお願いしています。本年度も6月末迄に寄付を是非お願いします。

「世界で良いこと」を行う世界的な取り組みをご支援ください。

地区委員長あいさつ

米山記念奨学委員会



委員長
尾崎 香理
(仁淀 RC)

本年度 米山記念奨学委員長を務めさせていただきます
仁淀 RC の尾崎と申します。

第 2670 地区のロータリアンの皆様におかれましては、
日頃から米山記念奨学事業に対し、多大なるご支援ご
協力を頂いておりますことに、心より感謝申し上げます。

米山記念奨学会は、日本で最初のロータリーの創立
に貢献されました故米山梅吉氏の功績を記念して発足
し、日本全国のロータリアンの皆様の寄付金を財源とし
て、勉学・研究を志して日本に在留している外国人留
学生に対し、奨学金を支給し支援する、規模、実績共に
国内民間最大の奨学団体です。

この事業の使命は、ロータリーの目指す平和と国際理
解の推進です。留学生の優れた学業の達成を支援し、
将来母国と日本との懸け橋となり、国際社会で活躍し、
ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成すること
です。特徴はロータリークラブ独自のお世話クラブとカウ
ンセラー制度による心の通った支援です。

現在は 1 年間あたりおよそ 900 人の奨学生を採用し、
これまでに 133 の国と地域から累計で 24,000 人を超
える奨学生を支援しています

寄付金の動向としましては、2022 年度には寄付金ゼ
ロのクラブがいくつかありましたが、2023、2024、2025
の 3 年間は寄付金ゼロのクラブがなく、地区内のロー
タリンの皆様にご協力頂いており、大変有り難く感謝申
上げます。米山寄付はいつでもいくらからでもご寄付頂
くことが出来ます。少額でもかまいませんもちろん沢
山でも金額に制限はございません。

戦後 80 年を迎え、世界から争いが消える事を願
いどうぞ引き続き米山記念奨学委員会に対し、皆様
のご支援とご協力をお願い申し上げます。

ロータリーカード推進委員会



委員長
青木 史仁
(中村 RC)

本年度ロータリーカード推進小委員長を拝命しま
した中村 RC の青木でございます。

平素よりロータリーカードの推進にご理解ご協
力を頂きお礼申し上げます。

2000 年より「ロータリーカードで世界を救おう！」
がアメリカで始まり、日本では 2003 年にオリコ
から個人カードが誕生しました。2013 年に法人
カードが誕生し、2016 年に三井住友からクラ
ブカード（世界初）が誕生しております。

クラブカードはガバナー等対象を始めとする
地区カード、地区内の各委員会委員長が対象
の地区委員会カード、クラブ会長を始めと
するクラブ理事対象のクラブカードがござ
いまして、年会費は無料です。

用途も様々で人頭分担金の支払いや財
団寄付金等に利用できるほか、例会運
営費などクラブで支払っている金額
でロータリーから支払いを受ける側
がカード決済できる環境ならばほぼ
全てに利用できます。

その利用した金額の 0.3% がポ
リオ根絶等のための寄付金とな
ります。

利用によっては決済金額が高額
になると思いますので、是非、各
クラブでクラブカードを所有し使
用して頂くことのご検討をお願い
致します。

現在はオリコからの個人カードと
法人カード、三井住友トラストグ
ループからのクラブカード（3 種
類）と個人カードがございま
す。

寄付金においてもほとんどのカ
ードは支払額の 0.3% 相当です
が、オリコの法人カードは 0.5%
相当です。年会費があるカード
も年会費からの寄付額に違いが
ありますのでご確認の上、所有
して頂けると幸いです。

ロータリーカード利用はロータ
リアン皆様の善意に頼ることが
大きいと思っています。

まずは、各クラブでのクラブカ
ード所有・利用（無料）、個人
でのカード所有・利用のご検討
をよろしくお願い致します。

地区委員長あいさつ

ロータリー公共イメージ向上 DEI 委員会



委員長
戸田 明
(高知南 RC)

日頃より、奉仕活動やクラブ運営、地域への貢献にご尽力いただいている会員の皆さまに、心より敬意を表します。

私たち委員会の役割は、ロータリーの理念や活動を社会に広く、正しく、そして魅力的に伝え、ブランド価値を高めることです。現在、世界的に「会員増強」は大きなテーマとなっており、単なる広報活動にとどまらず、マーケティング手法を活用した計画的なブランディング戦略が求められています。そのため、当委員会は「ロータリー公共イメージ向上 DEI 委員会」として、多様性 (Diversity)、公平性 (Equity)、包括性 (Inclusion) の視点を取り入れながら、より効果的で戦略的な活動を推進しています。

現代では情報発信の手段が多様化し、SNS、公式ウェブサイト、動画配信、地域メディアなどを駆使したアプローチが不可欠です。委員会では、統一感と洗練さを兼ね備えた広報デザインの提案、効果的な情報発信手法の共有、さらには各クラブの活動を地域や世界に向けて魅力的に伝えるサポート体制を整えています。また、会員の皆さまから活動写真や動画、体験談を積極的にお寄せいただくことで、よりリアルで共感と呼ぶストーリーを社会へ届けることが可能となります。

ロータリーのブランド価値を高めることは、単なるイメージアップではありません。それは、地域社会からの信頼を深め、新たな会員候補者の関心を高めるとともに、既存会員が誇りを持って活動を続けられる土壌を築くことに直結します。ブランド力の向上は、会員数の増加を後押しし、クラブ全体の活性化や奉仕活動の拡充へと確実につながります。

今後も、「選ばれるロータリー」「信頼されるロータリー」を目指し、会員の皆さまと共に、計画性と戦略性を持った情報発信を展開してまいります。どうぞ引き続きご理解と、積極的なご協力をお願い申し上げます。

ガバナー公式訪問報告【7月】

10
thu

会長：細谷 誠 幹事：松村 昌子

丸亀 RC



■ 随行者コメント

2025-2026 年度の最初のガバナー公式訪問は、恒例により、夏見良宏 2024-2025 年度ガバナーを輩出された丸亀 RC を訪問させていただきました。

丸亀 RC は 1963 年に設立した歴史のあるクラブで、現在の会員数は 44 名です。

青少年奉仕委員会による「少女の家への支援」、社会奉仕委員会による「善行表彰事業」「丸亀クリーン活動」への協力、環境保全委員会による「丸亀お城まつり事業」への参加など、地域に密着した活動を展開されています。

夏目ガバナーを輩出されましたので、ここ数年大きな事業が続き、会員が団結をして取り組んでこられました。本年度は、細谷会長の誠実なお人柄とリーダーシップで、会員相互の交流と親睦を大事にしつつ、様々な意見を述べあう機会を作るなど、10 年、20 年先を見据えた、持続可能なクラブの発展・維持のための改革に力を入れられています。

(随行者：西山正晃)

15
tue

会長：三好 康治 幹事：井上 秀人

高松東 RC



■ 随行者コメント

高松東 RC は、昭和 43 年 6 月 29 日に創立され、会員数は 47 名で、例会出席率 100% の伝統を維持されています。

三好会長が掲げる本年度のテーマ、「縁あるメンバーと絆を深め、ロータリーを楽しもう!」のもと、会員が互いに深く知り合い、絆を深める活動に取り組んでいます。

例会は毎週火曜日にリーガホテルゼスト高松にて開催されています。各委員長が協力をして運営をされており、とても和やかな雰囲気の中で、会員の仲の良さが印象的でした。

高松市内の小学生と米山奨学生との国際交流事業は、本年度で 4 回目を迎えます。2 年後の 60 周年に向けて、クラブ発展の原動力の醸成が進んでいると感じました。

(随行者：西山正晃)

Governor's Official Visit Report

17
thu

会長：中井 今日子 幹事：野崎 敬三

高松 RC



■ 随行者コメント

佐々木 AG、中井会長、野崎幹事、難波副会長、南条副幹事とともに、会長・幹事懇談会を行いました。中井会長より、会長方針「地域を知る。地域と歩む」についてご説明いただきました。会員増強については、現在 90 名を維持し、2 年後のクラブ創立 90 周年でも 90 名、100 周年には 100 名を目指すという具体的な目標を伺いました。また、他クラブ・他団体との連携を深め、地域への貢献をより強めていく重要性についてもお話がありました。具体的には、地域整備局港湾部をはじめ、香川県、高松市、香川大学等との連携により、7月21日に開催される「高松港みなとフェスタ in サポート高松」への取り組みについてご説明いただきました。中井会長のリーダーシップのもと、素晴らしい一年になることを期待しています。

(随行者：原田秀一)

17
thu

会長：谷口 毘 幹事：中 菜々生

香川大学 RAC



■ 随行者コメント

会員数 55 名 (7/17 現在) 例会は第 1、3 木曜日。今年のクラブターゲットは「至誠」

どんな小さなことでも全力で誠実に取り組み、地域の方から信頼されるクラブを目指すこと。と同時に、メンバー全員が成長したことを実感できる活動を通じ、メンバーの能力の底上げを目標としているとのこと。既に 7 月頭には女木島で清掃活動や BBQ を行い、地域貢献と親睦を実践したという報告もあり。

また月 2 回の活動では SNS 投稿等のラーニング会も行い、積極的な活動を呼び掛けていた。

佐々木ガバナー補佐からは、私も皆さんもロータリアン。色んな職業の人と関わり、有益な経験としてほしい。楽しく充実した時を過ごしてほしい。と総評。

織田ガバナーからは、オランダでの国際協議会での交流経験の話を題材に、人種、世代を超えた世界中人達との交流を促した。

今年のガバナー方針「地域密着」には若い世代の力が重要になるので、引き続き活動に注力して欲しいと激励した。

(随行者：野村美尋)

ガバナー公式訪問報告【7月】

18
fri

会長：鈴木 雅博 幹事：堀井 実

高松西 RC

■ クラブ紹介

当クラブは創立1969年4月14日で同年11月9日にチャーターナイトを迎えました。

2670 地区香川第1分区に属し分区の中では5番目に古いクラブです。

2012-2013 年度において木村大三郎ガバナーを輩出し、クラブ全員で地区大会を支えました。

当クラブには、同好会が「ゴルフ」「野球」「旅行」「五木会」（例会以外に行う飲み会）があり、これらを通じて、会員間の親睦を深めています。

過去の大型プロジェクトとしては、50周年記念事業として、ミャンマーにて学校の校舎を建設していることがあげられます。

本年度は、前年度に引き続き、ロータリー財団の補助金を利用してのNPO法人ミライキッズプロジェクトへの支援、同じく、2年目となるサッカー大会への協賛及び高松市内のガードレールの設置といった継続事業のほか、新たな事業として、捨て猫、捨て犬等の保護を行っている団体に対する支援活動を計画しています。

前年度に27歳の新入会員が入り、平均年齢も、59.27歳とロータリーには比較的若いと思います。



■ 随行者コメント

佐々木 AG、鈴木会長、堀井幹事、岡田副幹事、野口ロータリー財団委員長と共に、会長・幹事懇談会を行いました。43名の会員が在籍し、会長方針「未来へつなぐ地域への奉仕」のもと、長い歴史の中で地域の皆様と共に多くの奉仕活動を実践されています。継続事業として①未来キッズプロジェクト、②少年サッカー大会への協賛、③高松市へのガードレールの設置を実施されており、本年度は新たに④保護動物への愛護活動事業を予定しているとのこと。懇談では、国際的な青少年事業への新たな取り組みについてもお話しいただき、非常に感銘を受けました。また、南海トラフ地震をはじめとする災害に備え、防災・減災の観点から発信を行っている「危機管理委員会」の活動についてもご紹介いただき、当クラブでも積極的に取り組む必要性を強く感じました。（随行者：原田秀一）

22
tue

会長：浦川 和倫 幹事：片岡 利貢

高松中央 RC

■ クラブ紹介

当クラブは、昨年度創立40周年を迎え、新たな気持ちでクラブ活動を行っています。

現在会員数は32名で、チャーターメンバーは3名在籍しております。

近年8名の入会がありましたが、退会者も8名おり、現状維持が続いております。

クラブ運営に関しては、各委員会が奉仕の理念に基づき、活発に活動しております。

また月末例会後には、スマイルX会という会を新設し、会員相互のさらなる親睦を深めています。最後に今後の当クラブの課題として、会員増強に伴う、会員の多様性について、さらなる議論が必要であると考えております。



■ 随行者コメント

高松中央 RC は現在会員が35名で、高松国際ホテルを例会会場としています。浦川和倫会長、片岡利貢幹事、三川伸也副会長、三好和則副幹事、佐々木英樹ガバナー補佐の出席のもと2670地区の課題とクラブ運営に関する意見交換会を行いました。クラブの活動としては、早明浦ダム上流域の清掃に力を入れており、今年度は来年3月に初開催となる「かがわマラソン」の応援活動にも取り組まれるそうで、地域の活動にとっても熱心な印象でした。

（随行者：秋山直也）

Governor's Official Visit Report

23
wed

会長：藤田 徳子 幹事：森 敬介

高松南 RC



■ 随行者コメント

高松南 RC は 1957 年創設で、高松では 2 番目の設立と伝統あるクラブです。現在会員数が 58 名で、最近では若手の会員も増えているそうです。藤田徳子会長、森敬介幹事、佃昌道会長エレクト、宮本直樹副幹事、豊田章二パストガバナー、佐々木英樹ガバナー補佐の出席のもと意見交換会を行いました。クラブ活動の報告の中では、ロータリアンであることを誇りに思えるようなもっと地域に密着した活動をしていきたいという藤田会長の熱い思いがひしひしと伝わってきました。来年度はクラブ設立 70 周年とのことで、その準備に向けて一致団結したクラブの印象でした。

(随行者：秋山直也)

24
thu

会長：十河 建志 幹事：向井 亜樹

高松グリーン RC



■ 随行者コメント

1993 年創立され、今年度で 33 年目を迎えた高松グリーン RC の例会に訪問致しました。会員全員で詠えたグリーン色のジャケットが印象的です。十河会長、向井幹事を中心に会員の皆様が和やかに例会を運営されております。例会は通年夜間に行われていて、仕事と両立が大変そうでした。現在会員数は 36 名ですが、会員増強のためのオープン例会に、年 2 回、会員候補者 10 数名を招待しています。クラブの奉仕活動として、命の授業（骨髄バンク・献血）や職業精励実践者表彰式の開催に特に力を入れています。会員の減少に伴う予算の減少等、クラブ内の課題も抱えていますが、9 名のチャーターメンバーや先輩会員の助言を仰ぎ、課題に向かって日々活動されています。

(随行者：上原昭彦)

ガバナー公式訪問報告【7月】

25
fri

会長：岩佐 隆文 幹事：大野 等

琴平 RC



■ 随行者コメント

昭和37年に創立され、63年目を迎える琴平RCの例会(灸まん美術館)に訪問致しました。会員数は、昭和60年の58名をピークに現在12名になっており、会長幹事懇談会でも、岩佐会長・大野幹事から会員増強が急務とされております。地元の金刀比羅宮で禰宜の請川会員に続き、昨年は同じく宮司の琴陵会員がご入会されております。現時点では少数精鋭の中、御利益がたくさんあるクラブの印象を受けました。社会奉仕活動は地域社会のニーズを把握し、地域に根差した社会活動を心がけています。また金刀比羅宮奉納青少年野球大会への協賛や、青少年育成活動に関する地域行事、催事への支援参加など、青少年奉仕にも協力しています。食事は隣接した、位野木会員経営でもある「灸まんうどん」を織田ガバナー、三浦ガバナー補佐と琴平RC会員の皆様と共に、本場讃岐うどんを美味しく堪能致しました。
(随行者：上原昭彦)

28
mon

会長：田所 修二 幹事：七條 公光子

高松北 RC



■ 随行者コメント

高松北ロータリークラブは80名と大所帯であり、田所会長を中心に和やかで活気に満ちています。特に青少年奉仕に力を入れており、ゴルフやバスケットボール、サッカーなど学生スポーツ大会を支援しています。アメリカの姉妹クラブとの独自の交換留学も特徴で、例会では留学生のスピーチもあり、国際交流にも積極的な様子が伺えました。
(随行者：堅田和希)

Governor's Official Visit Report

29
tue

会長：稲田 晋一 幹事：中橋 孝彦

坂出 RC



■ 随行者コメント

7月29日(火) 坂出 RC へ織田ガバナーに随行した感想、一言で言えば、「大変明るいクラブ」です。稲田会長は、「勉強しよう、美味しいものを食べよう!」をクラブ運営方針に掲げています。そのために、「幹事2人」という、大変ユニークな体制をとっております。

ゴルフ部、野球部、ボクシング部、麻雀部、旅行部、ジョギング部など「趣味の会」も充実しており、ゴルフ部には我がクラブと同姓同名、「宮本貴光」氏が在籍しており、驚きました。10月開催の地区「ゴルフ大会」にて、同姓同名対決が実現すれば楽しいと思います。

坂出 RC の皆さん、地区大会では、高知の美味しい物、美味しい酒、わいわいガヤガヤ、皆で一緒になって、こじゃんと「美味しいものを食べよう!」ではありませんか。

(随行者：加藤敏仁)

30
wed

会長：前田 直宏 幹事：城金 善人

坂出東 RC



■ 随行者コメント

訪問当日は、讃岐うどんの有名店の行列に後ろ髪を引かれつつ例会場に赴き、前田直宏会長、城金善人幹事との懇談会に臨みました。

前田直宏会長は40代とお若く、ご尊父でもある前田直俊パストガバナーの薫陶を受け、なんと今年度から2期連続(!!)でクラブの会長を務める予定で、その間にロータリー賞の受賞を目指されるとのことで、非常に意欲的なクラブ運営を行われている印象です。クラブから2670地区の役員・委員も多数輩出し、地区に対する意識も高いものが感じられました。

本年度、特に注力することとして、2年前に設立したは坂出第一高校インターアクトクラブへの支援を具体的に事業化し、地域におけるロータリークラブの価値を高めてブランディングすることにより、会員増強を目指すとのことをお話を伺いました。地域の社会課題の発見・解決も重要視しており、ロータリークラブの範疇に納まらない活躍が期待されるクラブとお見受けしました。(随行者：大石崇之)

地区活動報告

Monthly Report

高松港みなとフェスタ in サンポート高松 開催報告

香川第一分区分高松ロータリークラブ2025-2026年度会長 中井 今日子

新しい年度スタート早々の7月21日（海の日）、高松ロータリークラブでは、今年度予定の事業第一弾を実施しました。

近年の観光誘客のキーワードにもなっている”SETOUCHI”（瀬戸内海）を眼前に有する香川県。2025年は第6回瀬戸内国際芸術祭、34年ぶりの全国高等学校総合文化祭のご当地開催等が重なり、この夏の人流の多さには県民も驚くばかりです。

それに先立って、高松駅周辺には徳島文理大学高松キャンパスが開校、アーティストックなフォルムと中四国最大級の1万人収容可能な機能を持つあなぶきアリーナ香川がOPENする等、今や四国の玄関「高松サンポートエリア」は大きな変貌と飛躍の時を迎え、その最前線を生業と生活の拠点とする多くのロータリアンにとっても、その存在価値と行動力が問われる重要な局面を迎えていると実感します。

一連の流れの中で、我々高松ロータリークラブでは、比較的早い段階から当該年度の活動計画に、内外からの注目を集めるこのエリアでの奉仕活動を模索してまいりました。

会員それぞれの幅広いネットワークを駆使し、連携や声がけの範囲をぐっと広げたことで実現したのが、この事業「高松港みなとフェスタ in サンポート高松」です。



日時 2025年7月21日(月)10:00~15:00

場所 あなぶきアリーナ香川 交流エリア、5万トン級岸壁、第2機橋

定員 1.あなぶきアリーナ（椅子座）200名程度
※椅子座は申込フォーム（裏面）からお申込みください。定員になり次第締め切ります。事前申込なしで立ち見も可能です。

2.港内見学ツアー 40名（10名×4回）
※申込方法は裏面をご覧ください。定員になり次第締め切ります。

参加費 無料
※ただし、港内見学ツアーのみ乗船の保険料として100円が必要です
主催：高松港みなとフェスタ実行委員会

国土交通省四国地方整備局高松空港部、高松港、空港整備事務所、高松港空港整備推進委員会、高松海上保安部、高松海上保安部高松支隊、香川、高松、高松ロータリークラブ、(一社)香川経済同友会

（屋外：5万トン級岸壁・第2機橋）

①海面清掃兼油回収船「美護」、高松海上保安部巡視船「いぶき」一般公開 10:00-14:30
美護は油を回収するだけでなく、海面に漂着するゴミや油を回収しています。香川県の海上保安部が、海上交通の安全確保、海上交通の防犯、海洋環境の監視などを行っています。

②「さんせと」による港内見学ツアー
◆港内見学ツアー申込表
◆申込受付 09:00-14:30
◆受付先 09:00-14:30
◆申込先 09:00-14:30
◆申込先 09:00-14:30

（屋内：あなぶきアリーナ香川 交流エリア）

①「海で生きる、民謡でつなぐ海の風景」 12:15-12:45
出演：金長舞舟々 香川の舟唄 斎太郎部など
海の民謡の歌合（長井健司）
香川大学地域・産学連携戦略室 特命教授 香井 健司

②基調講演「瀬戸から始まる豊かな瀬戸内海の創生」 13:00-13:30
香川大学創造工学部教授 末永 慶寛

③パネルディスカッション
テーマ「これからの高松港 ～どうするサンポート・どうなるサンポート～」
コーディネーター 香川大学経済学部教授 古川 尚幸

④液状化実験公開・港のパネル展示 10:00-15:00
【実験員・お問い合わせ先】 国土交通省 四国地方整備局 高松港、空港整備事務所
TEL：087-851-5524 MAIL：pa.sir@skc-ibss21.mhl.go.jp

そもそもこのイベントは、これまで国土交通省四国地方整備局空港・港湾事務所が、毎年7月の「海の日」に合わせて行っていたものですが、地元が新たな賑わいに沸く記念すべき年の特別企画として、国、県、高松市、香川大学や高松ロータリークラブ、かがわ経済同友会等と、官学民これまでにない幅広い連携によって実現したものです。

内容は、屋外エリアでの特殊船の一般公開や、港湾業務艇による港内見学ツアーという体験プログラムと、屋内プログラムとして、あなぶきアリーナ香川の海を臨むガラス張りエリアでの「海の恵みと恩恵に感謝し、海の現在（今）を知る講演とシンポジウム」の2場面が用意され、地元香川大学で伝統文化、海洋工学、賑わい創出等3分野の研究に取り組む教授陣の協力の下、海を多面的にフィーチャーした”気づきの時間”が生み出され、いずれも盛況の内に終わることができました。



香川大学若井特命教授による、全国津々浦々の海にまつわる「伝承歌」の説明と、讃岐民謡保存会によるパフォーマンスステージ



香川大学 若井特命教授



香川大学創造工学部 末永慶寛教授

香川大学創造工学部の末永慶寛教授による基調講演「藻場から始まる豊かな瀬戸内海の創生」の他、経済学部を率いて、直島や豊島での学生プロジェクトを率いる、経済学部の古川尚幸教授コーディネイトによるシンポジウム等、地元香川大学には多大なる協力をいただきました。

実施に当たっては幾度もミーティングを重ね、全体の構成や進捗を共有しながら、各団体は自らの担当パートを詰めていくという作業の連続でしたが、連携範囲が広がる事の意志疎通の難しさはともあれ、クラブ単独や小さな連携の範囲では得られなかった規模のアイデアや可能性を目の当たりにし、我々にとって挑戦してよかったと思える事案となったことが何よりでした。



我が高松ロータリークラブは2年後に創立90周年を迎えます。

いわゆる老舗という誇りと自覚の中でも決して胡坐をかくことなく、常に時流を読み時代に求められる奉仕を探究しながら歴史を重ねることこそが、90年100年を目指す我々の本分であると考えています。

地区の皆様には、今後共、時に連携に繋がるような小まめな情報共有とご指導を切に願っております。

7月度 出席報告

分区	クラブ名	出席率 (%)	7月末 会員数	首比 増減	7月末 女性会員数	例会数
愛媛第Ⅰ分区	今 治	94.57	46	0	2	4
	今 治 北	94.55	19	0	1	3
	今 治 南	99.67	67	1	1	5
	伊予三島	90.32	32	0	1	3
	川之江	92.55	46	-1	0	4
	新居浜	92.80	62	2	3	4
	新居浜南	79.63	20	0	3	3
	西 条	92.41	28	0	1	3
9RC	東 予	100.00	23	0	2	3
愛媛第Ⅱ分区	伊 予	77.78	31	0	1	3
	道 後	91.67	28	0	1	3
	松 山	68.96	70	2	10	5
	松 山 東	74.16	24	0	0	4
	松 山 北	89.89	30	2	2	3
	松 山 南	86.17	47	1	5	4
	松 山 西	82.19	20	0	2	4
	大 洲	79.01	27	0	3	3
	宇 和 島	85.42	16	0	1	3
	10RC	八 幡 浜	76.36	21	1	1

分区	クラブ名	出席率 (%)	7月末 会員数	首比 増減	7月末 女性会員数	例会数
香川第Ⅰ分区	さ ぬ き	90.63	17	0	0	4
	東かがわ	86.49	25	0	3	3
	小 豆 島	92.86	28	0	2	3
	高 松	100.00	89	7	11	5
	高松中央	90.08	32	0	0	4
	高松グリーン	86.79	36	0	5	3
	高 松 東	100.00	47	3	4	4
	高 松 北	86.36	84	1	8	3
	高 松 西	80.49	44	0	3	3
	10RC	高 松 南	87.23	58	0	3
香川第Ⅱ分区	観 音 寺	89.51	41	1	3	4
	観音寺東	85.00	26	2	3	4
	琴 平	91.67	12	1	0	3
	丸 亀	81.25	43	2	3	3
	丸 亀 東	68.27	42	3	4	5
	坂 出	87.62	35	0	2	3
	坂 出 東	86.17	66	1	10	4
	8RC	善 通 寺	86.67	38	1	1

分区	クラブ名	出席率 (%)	7月末 会員数	首比 増減	7月末 女性会員数	例会数
徳島第Ⅰ分区	徳 島	93.09	83	9	4	5
	徳 島 東	46.67	53	0	4	4
	徳 島 北	81.61	29	0	6	3
	徳島プリンス	86.98	70	2	13	4
	阿 南	62.16	51	0	3	4
	阿 南 南	73.95	45	0	0	5
	小 松 島	90.00	15	0	0	4
	小松島南	63.24	17	0	0	4
	阿南中央	58.97	16	0	3	3
	10RC	徳島眉山	66.67	9	1	0
徳島第Ⅱ分区	阿波池田	74.39	41	0	1	4
	御 所	76.70	27	2	4	4
	鴨 島	84.28	44	0	4	4
	鳴 門	80.30	45	0	4	3
	鳴門中央	90.32	34	2	2	4
	徳島中央	73.91	23	0	4	4
	徳 島 南	80.23	43	1	4	4
	徳 島 西	81.43	36	3	5	4
	脇 町	80.53	38	1	2	5
	11RC	阿波徳島	48.94	15	-1	1
	美 馬	67.74	31	3	6	4

分区	クラブ名	出席率 (%)	7月末 会員数	首比 増減	7月末 女性会員数	例会数	
高知第Ⅰ分区	安 芸	79.22	21	0	3	4	
	中 芸	82.86	12	0	0	3	
	香 長	95.00	10	0	0	2	
	高知中央	78.69	47	1	1	3	
	高 知 東	100.00	51	0	6	4	
	高 知 南	89.54	86	0	14	4	
	7RC	高知ロイヤル	86.59	22	0	3	4
		高 知	87.08	85	3	10	4
高知第Ⅱ分区	高 知 西	84.06	72	0	4	3	
	高 知 北	82.11	36	2	3	3	
	中 村	78.35	59	0	7	4	
	四 万 十	69.44	9	0	1	4	
	仁 淀	66.67	13	0	2	2	
	宿 毛	58.70	25	0	3	4	
	8RC	須 崎	56.67	15	0	0	2

	出席率 (%)	7月末 会員数	首比 増減	7月末 女性会員数
73RC 合計	81.95%	2,748	59	232

受賞者一覧

マルチプル・ポール・
ハリス・フェロー



米山 徹太
松山 RC

ポール・ハリス・
フェロー



岡崎 勇樹
高知東 RC

米山功労者メジャードナー



東 祐史
高知西 RC



山崎 啓輔
高知西 RC



山岡 陸宏
高知西 RC

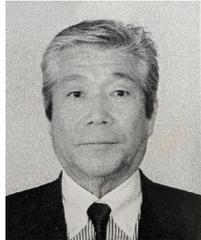
マルチプル米山功労者



吉永 光男
高知東 RC



西内 俊介
高知東 RC



尾崎 武行
高知北 RC



岡村 憲男
高知北 RC



浦井 賢一
高知北 RC

Rotary International District 2670 Information

ガバナー事務所から情報発信いたします

ぜひ、ご登録いただきますようお願いいたします。



ガバナー月信編集委員会からのお知らせ

ガバナー月信はネット配信となっています。
ガバナー事務所の HP で月信の閲覧およびダウンロードをお願いします。

<http://www.rid2670.jp>



記事投稿のお願い

ガバナー月信は、地区ガバナー事務所と会員の皆様との情報共有ツールです。
日頃の奉仕活動等を下記へお送りください。

宛先 monthly2526@rid2670.jp

締切 毎月 15 日

物故会員の連絡について

クラブ名、氏名、逝去年月日、年齢と顔写真（画像ファイル名＝氏名）をお送りください。

受賞者紹介について

所定の Excel ファイルにクラブ名、氏名、受賞種別を入力の上、垢お写真（ファイル名＝氏名）をお送りください。

出席報告について

毎月最終例会後、翌月 15 日までにガバナー事務所までメールまたは FAX でお送りください。

クラブの行事や活動状況等について

原稿と写真を添付の上メールでお送りください。

Rotary
第2670地区



国際ロータリー第 2670 地区 ガバナー事務所
E-mail:s-kochi2526@rid2670.jp

国際ロータリー第 2670 地区ガバナー月信編集委員会 地区代表幹事：小笠原 光豊／担当幹事：久保 英明

〒 780-0861 高知県高知市升形 4-10 升形マンション 1F TEL : 088-802-7262 FAX : 088-802-7263